

洗足学園音楽大学

邦楽演奏会 「和のいろは」

2022年7月23日（土） 14：00開演（13：30 開場）

洗足学園音楽大学 シルバーマウンテン1F

主催：洗足学園音楽大学・大学院

協力：現代邦楽研究所

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

【プログラム】

1 「糸四題」 佐藤敏直 作曲

箏I…中村 美優 稲垣 美沙 箏II…吉原 佐知子 陳 卓

2 「津軽じょんから節曲弾き(合奏・独奏)」

郝 翼田 染谷 美里

3 「碧潭一番～篠笛と十七絃箏による～」 浦田健次郎 作曲

篠笛…馬 新凱 十七絃…中村 美優

休憩 15分

4 「さらし幻想曲」 中能島欣一 作曲

フルート…村松 紀親 三絃…染谷 美里 箏…川田 健太

5 「合奏曲弥栄」 杵屋正邦 作曲

笛：馬 新凱

尺八I（笛）：山本 一心

尺八II（笛）：石高 万紀子

三絃：郝 翼田 染谷 美里

箏I：中村 美優 陳 卓

箏II：吉原 佐知子 碓井 由希子

箏III：産形 典子 倭文 美智子

十七絃：稲垣 美沙

【出演者】

現代邦楽コース大学院 学部生 卒業生

馬 新凱（院2：笛） 陳 卓（院2：箏） 郝 翼田（院1：三味線）

中村 美優（学4：箏） 川田 健太（学3：箏）

稲垣 美沙（修：箏） 産形 典子（卒：箏） 染谷 美里（卒：津軽三味線）

フルートコース院生

村松 紀親（院2）

現代邦楽研究所研究生

山本一心（笛） 倭文 美智子（箏） 碓井 由希子（箏）

教員

松尾 祐孝（教授：司会） 石高 万紀子（講師：笛） 吉原 佐知子（講師：箏）

【曲目解説】

「糸四題」佐藤敏直 作曲

I ことほぎ、II 感傷的なアリア、III 古代によせて、IV 波のように、の四章からなる。1985年10月12日、新典音楽協会の委嘱により作曲。〔GHコース〕

「津軽じょんから節曲弾き(合奏・独奏)」

「津軽じょんから節」は青森県の津軽地方の民謡。同地方の遊芸人たちが、門付を中心に歌ってきたもので、その源流は天明初年（1782年頃）新潟県十日町市下組新保にあった新保広大寺の盆踊り歌。それが越後瞽女などの手によって長編の「口説節」に仕立てられると、諸国の遊芸人の間で広まった。スクイ撥を多用する演奏法が津軽で発達し、さらに棹が太く丈夫な犬皮と太い糸を用いる楽器が使われるようになった。厚手の撥で叩き、大きく激しい表現技法が大きな特徴である。（日本大百科全書参照）

「碧潭一番～篠笛と十七絃箏による～」浦田健次郎 作曲

この作品は、作曲家の会「環」第16回定期演奏会のために作曲し、1982年11月30日草月ホールに於て、篠笛西川浩平氏、一七絃箏菊池梯子氏により初演された。その後1983年に、菊池梯子氏がヨーロッパで演奏会を催した際、篠笛に代えてフルート版を作るとともに改訂を行った。曲名の「碧潭」は、青々と澄んだ深い淵、という意味である。道元の言葉に「万古碧潭空界月」という一句があり、それより借用したが、曲の内容に直接には関わっていない。（譜面解説より）

「さらし幻想曲」中能島欣一 作曲

三絃・箏・フルートのための合奏曲。（昭和18年作曲）

古典の「さらし」から幾つかの旋律をとり、更に自由に變化、発展させフルートの特徴も生かして作られた三章からなる器楽曲です。

なお、「さらし」という古典は、宇治川の槇の島の布ざらしの情景と、付近の名所を歌った地歌。（譜面解説より）

「合奏曲弥栄」杵屋正邦作曲

※本日は尺八パートを笛で演奏いたします。

合奏曲弥栄はNHKの委嘱に應え、NHK邦楽技能者育成会の発展と繁栄を祈念し、併せて第32期生の卒業を祝して書き上げた一種の祝典曲的作品です。ただその祝意があまり表面へ出すぎないように或る程度で押さえ、その分、比較的速度的變化の多い純粋音楽風に形式を整えてあります。（譜面解説より）